

北海道浮魚ニュース

令和2年度 17号

2020年9月14日

道総研 釧路水産試験場

<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎道東太平洋サバ類マイワシ漁期中調査結果

試験調査船北辰丸(釧路水産試験場所属)によって行われたサバ類マイワシ漁期中調査の結果をお知らせします。

●調査期間：2020年9月3～9日

●調査海域：道東太平洋の5か所の調査点(図1のst.1, 3, 21, 26, 29)。

●調査方法：9種類の目合の流し網(表1)を用いた漁獲試験。原則17時投網，翌5時揚網。今年から各目合の反数を大幅に変更しました。過去の調査結果との比較のため漁獲尾数・CPUEは去年度の反数(182mmを除く)に換算した値を用いました。

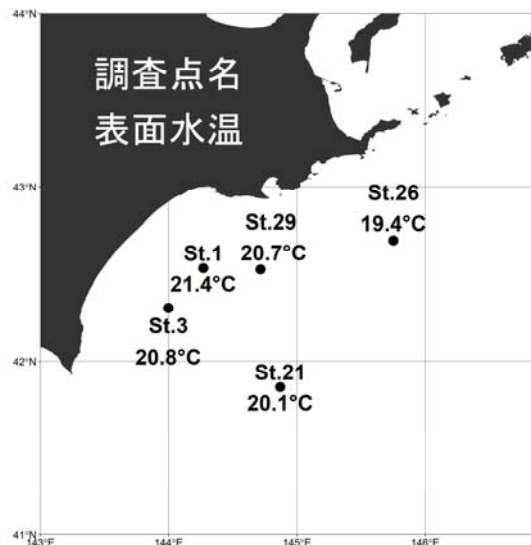


図1 漁獲試験の調査点と表面水温

表1 調査に用いた流し網

目合(mm)	22	25	29	37	48	55	63	72	82	182
2020年度	2	2	4	2	2	2	2	4	4	0
2019年度以前	1	1	4	4	2	1	1	1	2	12

表2 水温および魚種別漁獲尾数

調査点(St.)	26	21	3	29	1	合計
表面水温(°C)	19.4	20.1	20.8	20.7	21.4	
50m水温(°C)	10.1	9.8	7.6	7.5	10.2	
100m水温(°C)	6.1	8.5	8.1	5.0	6.6	
サバ類	149	147	258	223	91	868
マイワシ	4,613	162	1,778	14	200	6,766
カタクチイワシ	8	11	77	28	161	284
サンマ	0	0	0	0	0	0
スルメイカ	2	23	5	2	3	34
アカイカ	0	2	1	4	0	6

※換算値のため丸め誤差あり

●水温環境：5 調査点の表面水温は 19.4～21.4℃（前年 16.8～22.1℃）で、前年よりも高く、st. 1 で+3.3℃、st. 29 で+2.8℃でした（図 1，表 2）。50m 層は 7.5～10.2℃（前年 3.1～15.5℃），100m 層は 5.0～8.5℃（前年 1.9～12.3℃）でした。

●サバ類(マサバ, ゴマサバ)

5 調査点全点で合計 868 尾のサバ類が漁獲されました(表 2，図 2)。

CPUE は 174 尾／回で、前年の 883 尾／回を大きく下回りました（図 3）。

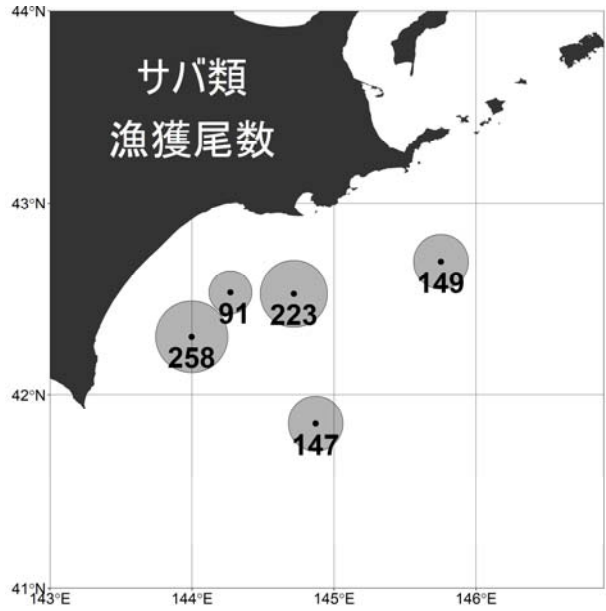


図 2 サバ類の漁獲尾数

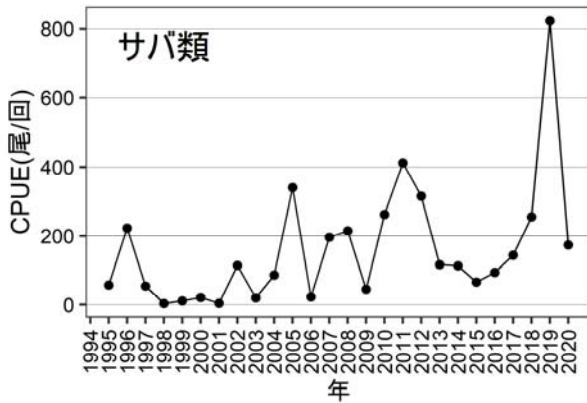


図 3 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の推移

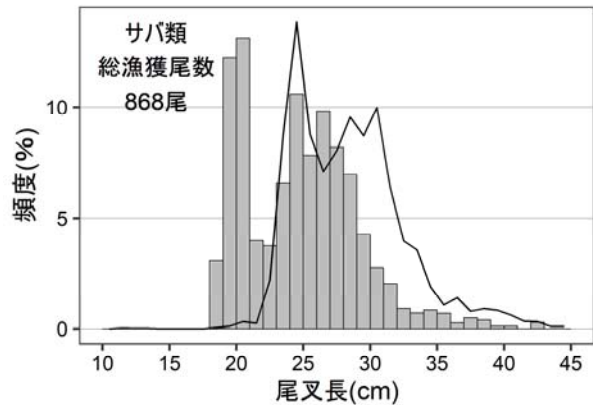


図 4 サバ類の体長組成
(縦棒:2020年, 折線:2019年)

魚体は、尾叉長 19～30cm 台が主体で、前年よりも尾叉長 30cm 以上の個体の割合が低くなり、尾叉長 20cm 前後の個体割合が高くなりました（図 4）。

●マイワシ

5 調査点全点で合計 6,766 尾のマイワシが漁獲されました（表 2，図 5）。根室沖の st. 26 で 4,613 尾と本調査で最も多くの漁獲がありました。

CPUE は 1,353 尾／回で、前年を大きく下回りましたが、近年の中では高い値でした（図 6）。

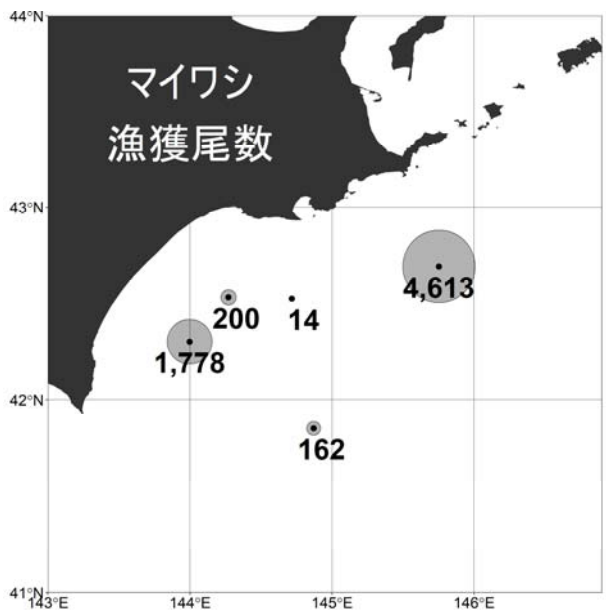


図 5 マイワシの漁獲尾数

魚体は体長の範囲が 12～22cm 台で、16～17cm 台が主体でした（図 7）。前年と比べて、体長 19cm 以上の大型個体の漁獲がほとんどなくなり、一方で体長 13～14cm 台の小型個体の割合が高くなっていました。

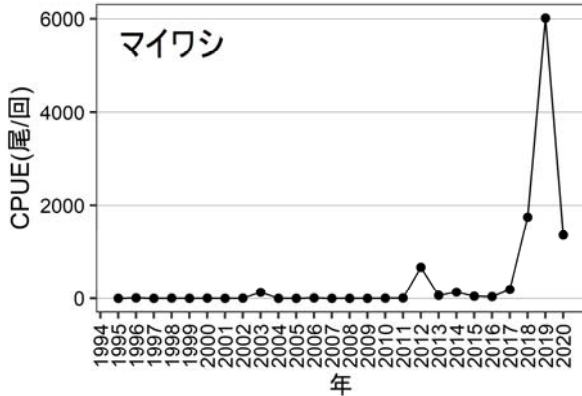


図 6 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の推移

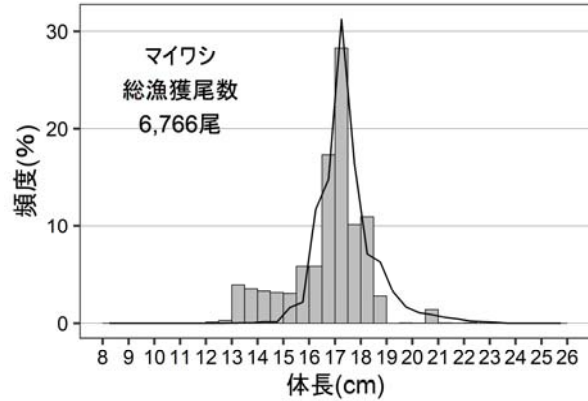


図 7 マイワシの体長組成
(縦棒:2020年,折線:2019年)

●カタクチイワシ

5 調査点全点で合計 284 尾のカタクチイワシが漁獲されました（表 2，図 8）。CPUE は 57 尾／回と 2000 年代の水準と比較すると低い値ですが、近年の中では高い値でした。被鱗体長は 12～13cm 台が主体でした（図なし）。

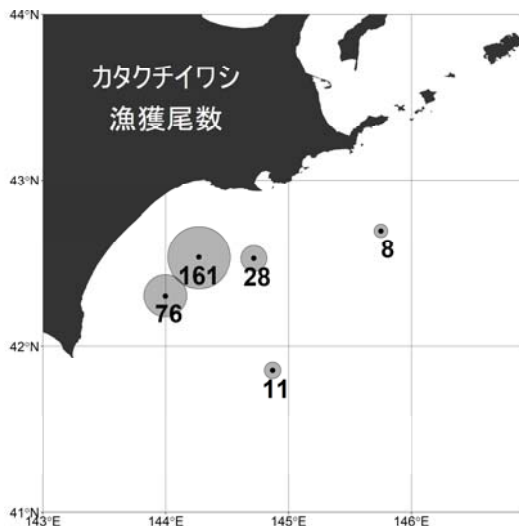


図 8 カタクチイワシの漁獲尾数

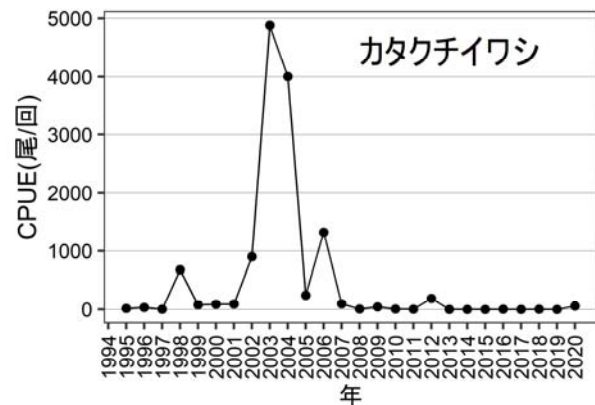


図 9 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の推移

●サンマ

5 調査点でサンマの漁獲はありませんでした（表 2）。

(道総研 釧路水産試験場 調査研究部, TEL : 0154-23-6222, FAX : 0154-23-6225)